

一年次履修科目

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
看護物理学	1	30	1年前期	森山 隆則
科目のねらい ものを測る様々な単位の種類と意味、基礎看護技術の物理学的な原理および医療機器の原理について理解し看護における科学的ものの見方を涵養する				
教科書 : なし 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)の4段階評価とする				
授業の進め方 教科書に準じた進め方で、解りやすいパワーポイントを用い基礎看護技術の物理学的な原理について演習を取り入れ平易に解説します また、ものには全て単位がありその意味・考え方について演習を通して解説します さらに様々な医療機器の原理および使用上の注意について解説します				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	重さ・容積・濃度の単位	2	単位の接頭語および単位の換算について	講義 演習
2	単位の換算演習	2	単位の換算	
3	体位変換に必要な物理学	2	体位変換の基礎理論について 作用と反作用	
4	トルクの考え方と演習	2	体位変換に役立つトルクの計算について	
5	温度の定義と検温の意義	2	体熱の産生と喪失のバランスについて 熱の移動	
6	冷電法温電法の物理学	2	温度・比熱	
7	看護に必要な電気理論	2	電気理論について	
8	大気圧の定義と血圧の単位	2	圧力の様々な定義と単位、血圧測定の注意事項	
9	酸素ボンベの物理学	2	気体の基礎的法則について	
10	点滴の基礎理論	2	位置エネルギーと運動エネルギーについて	
11	浸透圧・血液透析の原理	2	浸透圧の考え方・計算方法・単位について	
12	酸・アルカリ・pH	2	酸・アルカリ・水素イオン濃度について	
13	重量濃度・モル濃度・換算	2	溶液の各種濃度の表現方法について	
14	内視鏡・超音波の原理	2	内視鏡・超音波の原理について	
15	電磁波の種類と応用	2	電磁波の種類と医療への応用について	
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
英語 I	1	30	1 年前期	佐藤 有
科目のねらい ①医療に関わる基本的な英語用語を身につける②関係文書の読解力・活用力を高める③英語のコミュニケーション能力を高める				
教科書 : Akihiko Higuchi, John Tremarco <i>First Aid! English for Nursing</i> KINSEIDO 2013 参考文献 : 特になし				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優 (80 点以上)、良 (70~79 点)、可 (60~69 点)、不可 (60 点未満) の 4 段階評価とする				
授業の進め方 : 授業は基本的に教科書に沿って進めます 英語の辞書を用意してください				

授業進度と内容

回数	単元	単元目標	時間	学習内容	授業形態
1	来院	初診の患者を案内する際の語彙や表現ができる	2	・会話 (Is this your first visit to this hospital?等) ・講読 (Patient Communication: 1.)	全体学習 ／グループ学習
2	初診受付	患者に登録票／診察申込書の記入を手伝うことができる	2	・会話 (May I ask your full name please?等) ・登録票／診察申込書の記入	全体学習 ／グループ学習
3	生活習慣を聞く	患者の飲酒や禁煙など、生活習慣について尋ねることができる	2	・会話 (I'd like to ask you about your daily activities. 等) ・講読 (Patient Communication: 3)	全体学習 ／グループ学習
4	問診 (1)	症状について尋ねる際の語彙や表現を使用することができる 体の名称を英語で言うことができる	2	・会話 (What seems to be the problem? How long have you been tired? 等) ・体の名称の英語表記	全体学習 ／グループ学習
5	脈拍、血圧、体重の測定	測定の際の語彙や表現を使用することが出来る。 臓器の名称を英語で言うことができる	2	・会話 (Let me check your pulse. Your blood pressure is 120 over 86. 等) ・臓器の名称の英語表記	全体学習 ／グループ学習
6	採血、採尿	検査に必要な語彙や表現を使用することができる	2	・会話 (We need to take urine and blood samples for testing. 等) ・講読 (Patient Communication: 6.)	全体学習 ／グループ学習

回数	単元	単元目標	時間	学習内容	授業形態
7	診断 (1)	検査の結果の説明に必要な語彙や表現を使用することができる	2	・会話 (Let me explain the test results to you. 等) ・購読 (Treating Diabetes.)	全体学習 ／グループ学習
8	問診 (2)	腹痛と消化不良について尋ねる際の語彙や表現を使用することができる 病院のスタッフ名を英語で言うことができる	2	・会話 (How is your appetite? I sometimes get a bit of indigestion. 等) ・病院スタッフ (看護部長、主任看護師等) の英語表記	全体学習 ／グループ学習
9	症状をより詳しく聞く	脈拍、血圧の検査の後、症状について尋ねる際の語彙や表現を使用することができる	2	・会話 (Your blood pressure is within the normal range. 等) ・講読 (A Definition of Obesity and BMI.)	全体学習 ／グループ学習
10	診断 (2)	内視鏡検査と血液検査の結果の説明に必要な語彙や表現を使用することができる	2	・会話 (You have high sugar levels. 等) ・講読 (The Importance of Hygiene in a Medical Environment.)	全体学習 ／グループ学習
11	薬の説明	薬の服用の際の語彙や表現を使用することができる	2	・会話 (Take one tablet three times a day after meals. 等) ・講読 (What is a Stroke?)	全体学習 ／グループ学習
12	院内施設案内	院内施設の位置を英語で説明し、案内することができる	2	・自分たちの学校や病院の施設の位置を英語で表現する (It is on the second floor next to the Cardiology Department. 等)	全体学習 ／グループ学習
13	MRI を受ける	MRI 検査の説明で使う語彙や表現を使用することができる	2	・会話 (We can take a close look at the brain. 等) ・講読 (Reducing the Risk of a Stroke.)	全体学習 ／グループ学習
14	手術を薦める	検査や手術の説明の際の語彙や表現を使用することができる	2	・会話 (Let me explain the MRI test results to you. 等) ・講読 (Patient Anxiety before an Operation.)	全体学習 ／グループ学習
15	術後のコミュニケーション	術後の患者との会話や表現ができる	2	・会話 (You can go home by the end of the week. 等) ・講読 (Post Operation Anxiety.)	全体学習 ／グループ学習
単位修得認定試験			1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
音楽と表現技法	1	30	1年前期	伏見 千悦子
科目のねらい 1. 音・音楽と表現の関連性について、音楽遊びや合唱、創作ダンスなど、さまざまな表現活動を通して理解する 2. 豊かな感性を養うとともに自己表現力を磨き、心身を開放する方法について考察する				
教科書 : 配布プリントを使用します 参考文献 :				
評価方法 : 毎回の取組姿勢、課題提出、実技発表の総合評価とします 評価認定 : 優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)の4段階評価とする				
授業の進め方 毎回の講義は、歌ったり踊ったり体を動かす学習内容を多く含みますので、動きやすい服装、靴で受講してください。また、グループワークなどには積極的に参加することを望みます				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	音・音楽とところとからだ	2	音楽と心身の関連性について学びます	演習
2	表現が育つ過程	2	表出から表現へのプロセスを学びます	演習
3	日本の音楽—わらべうた(1)	2	粗大運動を含むわらべうたを体験します	演習
4	日本の音楽—わらべうた(2)	2	微細運動を含むわらべうたを体験します	演習
5	さまざまな国の音楽遊び(1)	2	粗大運動を含む音楽遊びを体験します	演習
6	さまざまな国の音楽遊び(2)	2	微細運動を含む音楽遊びを体験します	演習
7	想像力を育む音楽活動	2	物語性のある創作活動について学びます	演習
8	音感を育む音楽活動(1)	2	簡易打楽器を用いリズム遊びを体験します	演習
9	音感を育む音楽活動(2)	2	ミュージックベル等で旋律の演奏をします	演習
10	音感を育む音楽活動(3)	2	トーンチャイム等でハーモニーのある音楽を演奏します	演習
11	言葉と歌唱(1)	2	言語活動と歌唱について学びます	演習
12	言葉と歌唱(2)	2	言語活動と歌唱のための教材を作成します	演習
13	音・音楽と身体表現(1)	2	音・音楽と身体運動の関連性を学びます	演習
14	音・音楽と身体表現(2)	2	音・音楽と身体運動の関連性を学びます	演習
15	音・音楽と身体表現(3)	2	グループごとに発表し、まとめを行います	演習
単位修得認定試験		1	取り組み姿勢、課題提出、実技発表	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
心理学	1	30	1年前期	久原 奈緒子
科目のねらい 人間の心の発達と心の動きについて学び、自己と他者を心理学の立場から理解する能力を養う。 心理学の基礎知識、感覚・知覚・記憶・思考・学習・言語・発達・性格を取り上げ、人間一般の行動の法則性を理解することを目的とする。				
教科書 : 心理学理論と心理的支援 岡田 斉(編) 弘文堂 (ISBN978-4-335-61072-1) 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 80%、提出物、授業態度、出席状況 20% 評価認定 : 優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)の4段階評価とする				
授業の進め方 教科書とプリントを用い授業を行う。 講義と演習を適宜おりまぜながら進行する。				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	心理学とは何か	2	心理学の歴史、分野、分類について学ぶ	講義
2 3 4 5	人の心理学的理解	8	性格の形成要因、パーソナリティ理論、性格検査について体験し理解する	講義 演習
6 7	日常生活と心の健康	4	ストレスの仕組みや症状、疾患について	講義
8 9 10	心理的支援の方法と実際	6	心理療法と心理査定、精神疾患について体験を通して	講義 演習
11 12 13 14	人の成長・発達と心理	8	発達の定義、発達段階、発達課題について胎児期から老年期までの心理的特徴を学ぶ	講義
15	グループワーク	2	KJ法(説明、作成、発表、まとめ)	演習
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
コミュニケーション	1	30	1 年前期	石塚誠之
科目のねらい 人間関係の基礎となる言語的・非言語的コミュニケーションやグループダイナミクスの基礎について学ぶ また、コミュニケーションに関する自己理解を深めた上で、他者とコミュニケーションをとるための表現・傾聴技法について学び、円滑なコミュニケーションを生む要因について理解を深める				
教科書 : 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優(80 点以上)、良(70～79 点)、可(60～69 点)、不可(60 点未満)の 4 段階評価とする				
授業の進め方 言語的・非言語的なコミュニケーションなど心理学的を背景とし基礎知識について学んだ上で、関係の一般的あり方や専門的な援助関係の基礎について、ロールプレイ等の体験を通じて、理解を深める また、医療現場や日常生活における事例を通じて相手に配慮した関わりについて考える				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	オリエンテーション	2	コミュニケーションとは何か、その意味について考える	講義 演習
2	コミュニケーションとは	2	日常生活での言語・非言語的コミュニケーションについて考える	
3	自己理解とコミュニケーション①	2	社会スキル尺度・ジョハリの窓等を用い、自己理解を深める	
4	自己理解とコミュニケーション②	2	日常生活におけるコミュニケーション行動について考える	
5	他者理解とコミュニケーション	2	他者を理解し、コミュニケーションを円滑にする方法を知る	
6	話し方のコミュニケーション技法	2	コミュニケーションにおける表現技法について学ぶ	
7	聞き方のコミュニケーション技法①	2	コミュニケーションにおける傾聴技法について学ぶ	
8	コミュニケーション技法の活用	2	様々なコミュニケーション技法を用いてロールプレイを行う	
9	コミュニケーションスキルトレーニング①	2	アサーションの理論について学ぶ	
10	コミュニケーションスキルトレーニング②	2	アサーションの技法について学ぶ	
11	集団活動とコミュニケーション①	2	集団活動を通して、コミュニケーションについて考える	
12	集団活動とコミュニケーション②	2	集団活動を通して、円滑なコミュニケーションに必要な要因を知る	
13	看護コミュニケーション事例検討①	2	事例を通じて、患者の気持ちを受け止める方法を知る	
14	看護コミュニケーション事例検討②	2	事例を通じて、患者の気持ちに配慮した関わりについて知る	
15	授業のまとめ	2	授業でまとめたコミュニケーションのポイントについて確認する	
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
社会学	1	30	1年前期	鄭 斗鎬
科目のねらい 社会的存在としての人間理解と人間に影響を及ぼす社会的要因を理解する 最も基礎的な集団である家族を取り上げ体験学習から家族の機能、役割、関係を理解する				
教科書 : 新・社会福祉講座3 社会理論と社会システム第3版 参考文献 :				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)の4段階評価とする				
授業の進め方 社会学に関連する諸議論を整理することと、社会学に関する重要な養護や概念を理解する				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	社会学	2	社会学とは何かを紹介	講義
2	現代社会の理解(1)	2	社会システムと社会システムの安定性	講義
3	現代社会の理解(2)	2	法と社会システム、法の疎遠性・普遍性・不変性	講義
4	現代社会の理解(3)	2	経済と社会システム・交換と市場	講義
5	現代社会の理解(4)	2	社会変動とは何か	講義
6	現代社会の理解(5)	2	人口からみた社会変動	講義
7	生活の理解(1)	2	生活のとらえ方	講義
8	生活の理解(2)	2	家族について	講義
9	生活の理解(3)	2	地域について	講義
10	人と社会の関係(1)	2	社会的行為	講義
11	人と社会の関係(2)	2	社会的役割	講義
12	人と社会の関係(3)	2	社会集団と組織	講義
13	人と社会の関係(4)	2	社会的ジレンマ	講義
14	人と社会の関係(5)	2	社会関係資本と社会的連帯	講義
15	社会問題の理解	2	社会問題のとらえ方と日本社会と社会問題・共生社会	講義
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
倫理学	1	30	1年前期	佐藤 郁恵
科目のねらい 倫理学の歴史と特徴的な考え方を理解し、学校や医療現場での倫理的な諸問題を学ぶ。 生の始まりと終わりに関わる倫理的な課題やアプローチについて考察する。				
教科書 : 系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院 参考文献 : 小西恵美子編：看護倫理、よい看護・よい看護師への道しるべ、南江堂 宮脇美保子著：看護実践のための倫理と責任、中央法規				
評価方法 : レポート及び最終試験を総合して評価を行う。 評価認定：優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)の 4段階評価とする				
授業の進め方 ・学生の関心事や経験、あるいは事例検討の資料の読み取りなどを通して、皆さんの意見や考え方を 交流しながら進めます。 ・14・15回目はグループ学習を中心に事例検討を行い、お互いの意見交換を行います。				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	オリエンテーション	2	15回の講義計画・内容の確認	講義
2	倫理とは何か	2	道徳的価値とは、価値の対立とは	講義
3	倫理思想①	2	ギリシャ思想と倫理、西洋思想と倫理	講義
4	倫理思想②	2	東洋思想と倫理	講義
5	生命倫理①	2	生命倫理の歴史、生命倫理の原則	講義
6	生命倫理②	2	インフォームドコンセント、守秘義務	講義
7	生命倫理③	2	事例に基づく演習	演習
8	生命倫理④	2	生をめぐる倫理	講義
9	生命倫理⑤	2	死をめぐる倫理	講義
10	生命倫理⑥	2	先端医療と倫理	講義
11	看護倫理①	2	看護倫理の歴史、看護の倫理原則	講義
12	看護倫理②	2	ケアの倫理、アドボカシーの概念	講義
13	看護倫理③	2	倫理的課題へのアプローチ	講義
14	事例検討からの学び①	2	グループによる検討とまとめ	演習
15	事例検討からの学び②	2	グループによる検討とまとめ	演習
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
公衆衛生学	1	15	1 年前期	都 築 俊 文
科目のねらい 公衆衛生活動の特徴は、主に特定の人間集団を対象とするものであり、その目的は疾病 4 の予防のみならず、健康の維持・増進を図ることにある。このような特徴を理解するとともに、公衆衛生活動を展開するための基礎知識を身につける。				
教科書 : 系統看護学講座 専門基礎 公衆衛生 医学書院 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優(80 点以上)、良(70～79 点)、可(60～69 点)、不可(60 点未満)の 4 段階評価とする				
授業の進め方 テキスト及びその都度配布する資料中心に進めます				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	公衆衛生とは	2	公衆衛生の特徴、公衆衛生と健康	講義
	プライマリーヘルスケア		義務としての健康から権利として	講義
2	健康と環境(1)	2	地球環境問題(地球環境問題、水・空気・土壌)	講義
	健康と環境(2)		食品管理・家庭用品、ごみ・廃棄物など	講義
3	疫学と健康指標	2	健康と病気の違い、健康指標	講義
	ヘルスプロモーション(HP)		新しい公衆衛生学としての HP	講義
4	社会保障制度	2	体制と制度、必要性など	講義
	医療保険、介護保険制度		その概要、少子高齢化との関係	講義
5	公衆衛生と国際協力	2	グローバル化する公衆衛生	講義
	地域保健		保健所と地域保健センターの役割	講義
6	対象別公衆衛生(1)	2	母子保健、成人保健、老人保健	講義
	対象別公衆衛生(2)		精神保健、難病保健	講義
7	場面別公衆衛生	2	学校保健、産業保健、災害保険	講義
	感染症対策		予防の基礎知識、新興・再興感染症	講義
8	健康危機管理	1	危機管理の概要、公衆衛生活動との関連	講義
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
解剖生理学 I	1	15	1 年前期	和泉 博之
科目のねらい 身体の構造と機能の概論を理解する				
教科書 : 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定単: 優(80 点以上)、良(70～79 点)、可(60～69 点)、不可(60 点未満)の 4 段階評価とする				
授業の進め方 板書を主体に、DVD(ビデオ)、POWERPOINT を用いてわかりやすい授業を心がけます 必要に応じ資料を作成し配布します				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	人体の構造と機能、人体とは	1	・人体の構造と機能 ・解剖学と生理学の歴史など	講義
2	人体の細胞	2	・細胞の構造と機能 ・エネルギーの生成	講義
3	人体の組織	2	・細胞の増殖、染色体、各組織	講義
4	構造と機能からみた人体	2	・構造からみた人体	講義
5	構造と機能からみた人体	2	・構造からみた人体	講義
6	構造と機能からみた人体	2	・機能からみた人体	講義
7	構造と機能からみた人体	2	・機能からみた人体	講義
8	構造と機能からみた人体	2	・体液とホメオスタシス	講義
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
解剖生理学Ⅱ	1	30	1年前期	後山恒範 金谷憲明 賀来亨
科目のねらい 生命現象の機序を学び、正常な人体の構造と機能を理解する				
教科書 : 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% (後山 40% 金谷 30% 賀来 30%) 評価認定 : 優(80 点以上)、良(70～79 点)、可(60～69 点)、不可(60 点未満)の 4 段階評価とする				
授業の進め方 教科書、DVD、パワーポイント、資料配布で進めます				
単元 : 骨・筋系		担当講師 : 後山 恒範		
単元 : 循環器系		担当講師 : 金谷 憲明		
単元 : 呼吸器系		担当講師 : 賀来 亨		

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1 2 3 4 5	身体の支持と運動 骨格・筋肉系	10	人体の骨格筋の構造と機能 筋肉系の分類	講義
6 7 8 9 10	血液の循環とその調節 循環器・リンパ系	10	心臓の構造、心臓の拍出機能、末梢循環の 構造、血液の循環の調節、胎児循環 リンパとリンパ管	講義
11 12 13 14 15	呼吸のはたらき 呼吸器系	10	呼吸器系の構造と機能	講義
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
解剖生理学Ⅲ	1	30	1年前期	一木 崇宏 河田哲也 島村佳一
科目のねらい 生命現象の機序を学び、正常な人体の構造と機能を理解する				
教科書 : 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% (一木 50% 河田 25% 島村 25%) 評価認定 : 優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)の4段階評価とする				
授業の進め方 教科書を中心にスライドを活用して進めます				
単元：消化器系	担当講師： 一木崇宏	単元：内分泌・代謝系	担当講師： 島村佳一	
単元：腎・泌尿器系	担当講師： 河田哲也	単元：血液・免疫系	担当講師： 一木崇宏	

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1 2 3 4	栄養の消化と吸収 消化器系	8	・口・咽頭・食道の構造と機能 ・腹部消化管の構造と機能 ・膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 ・腹膜	講義
5 6 7 8	体液の調節と尿の生成 腎・泌尿器系	8	・腎臓の構造と機能 ・排尿路 ・体液の調節	講義
9 10 11 12	内臓機能の調節 内分泌・代謝系	8	・自律神経の構造と機能 ・内分泌系による調節 ・全身の内分泌腺と内分泌細胞 ・ホルモン分泌の調節	講義
13 14 15	血液のはたらき 血液系 外部環境からの防御 免疫系	6	・血液の組成と機能 ・生体の防御機構 ・体温とその調節	講義
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
病理学総論	1	15	1年前期	森山 隆則
科目のねらい 病気の原因と病理学的な変化について学び疾病の特徴や進行の過程を理解する				
教科書 : 系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 疾病の成り立ちと回復の促進① 医学書院 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)の4段階評価とする				
授業の進め方 教科書に準じた内容について、教科書はもとより理解の助けになる参考データ 図表をまとめたパワーポイントを使用し、双方向的な授業を実施します 理解度の チェックのため單元ごとに必ず質問し確認します				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	病理学で学ぶこと	1	病気の原因	講義
2	細胞・組織の障害と修復	2	細胞損傷と適応、組織の修復と創傷治癒	
3	循環障害	2	循環血液量の異常と閉塞性の障害について	
4	炎症と免疫・感染症	2	炎症とアレルギー、免疫不全および自己免疫疾患について	
5	代謝障害	2	脂質・たんぱく質・糖質の各物質代謝異常について	
6	老化と死	2	老化のメカニズム	
7	先天障害と遺伝子異常	2	先天異常の種類と新生児 マススクリーニングについて	
8	腫瘍	2	腫瘍の定義分類、発生病理および診断と治療について	
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
生化学	1	30	1 年前期	和泉 博之
科目のねらい 人体の構成成分である化学物質の性状とその代謝について知り、生命現象のしくみを化学的に理解する				
教科書 : わかりやすい 生化学 疾病と代謝・栄養の理解のために ヌーベルヒロカワ 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優(80 点以上)、良(70～79 点)、可(60～69 点)、不可(60 点未満)の 4 段階評価とする				
授業の進め方 生理学、疾患との関連を交えながら関心がもてるよう進めます				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1 2	生化学を学ぶための基礎知識	4	1. 生化学とは 2. 生化学を学ぶための基礎的的化学知識 3. 細胞の構造と機能 4. 生体で起きている科学反応	講義
3 4	タンパク質の性質	4	1. タンパク質の分類 2. 構成するアミノ酸の種類 3. タンパク質の高次構造	講義
5 6	酵素の性質と働き	4	1. 酵素とは 2. 酵素の特性 3. 酵素の種類	講義
7 8	生体内における糖質の代謝	4	1. 糖とは何か 2. 糖の分類 3. 糖質は体の重要なエネルギー源 4. グルコースとグルコーゲン	講義
8 9	生体における脂質の代謝	4	1. 脂質の種類と科学的性質 2. 脂質の代謝 3. リポタンパク質と脂質の代謝	講義
9 11	生体内におけるアミノ酸及びタンパク質の代謝	6	1. 脱アミノ酸 2. 脱炭酸反応 3. 尿素回路 4. 糖新生	講義

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
			5. エネルギー代謝 6. 分岐鎖アミノ酸の代謝 7. 合流アミノ酸の代謝 8. オキシアミノ酸の代謝 9. 芳香族アミノ酸	講義
1 2 1 3	生体内における核酸の役割	2	1. 2種類の核酸と構造 2. 核酸はコピーされる 3. タンパク質を作るための核酸 4. モノ及びジヌクレオチド	講義
1 4 1 5	全体のまとめ	2	まとめの後質疑応答	
	単位修得認定試験	1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
栄養学	1	15	1 年前期	上坂 真智子
科目のねらい 生命維持に必要な栄養素とそのエネルギー代謝について学び、健全な生命活動を営むための基礎的知識を学ぶ				
教科書 : 系統看護学講座 専門基礎分野 栄養学 人体の構造と機能③ (医学書院) 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験(90%)、平常点 (10%) 平素の受講態度等を加味する。 評価認定 : 優(80 点以上)、良(70～79 点)、可(60～69 点以上)、不可(60 点未満)の 4 段階評価とする。				
授業の進め方 教科書と資料を中心に進める。				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	栄養学と看護 栄養素の種類と働き①	2	1. 栄養を学ぶということ 2. 保健・医療における栄養学 3. 看護と栄養 4. 三大栄養素 (糖質、脂質、たんぱく質)	講義
2	栄養素の種類と働き②	2	1. ビタミン 2. ミネラル 3. 食物繊維 4. 水	講義
3	エネルギー代謝	2	1. 食品のエネルギー 2. 体内のエネルギー 3. エネルギー代謝の測定 4. エネルギー消費	講義
4	栄養素の消化・吸収	2	1. 食物の消化 2. 栄養素の吸収	講義
5	血漿成分と栄養素 栄養素の体内代謝	2	1. 血漿成分と栄養素 2. 栄養素の代謝 3. 吸収・代謝産物の排泄	講義
6	栄養ケア・マネジメント 栄養状態の評価・判定	2	1. チームアプローチと栄養ケア・マネジメント 2. 栄養スクリーニング、アセスメント 3. 栄養ケア計画の実施と評価 4. 栄養状態の評価・判定	講義
7	ライフステージと栄養	2	1. 小児から高齢期における栄養の特徴	講義
8	講義のまとめ	1	まとめ	講義
	単位修得認定試験	1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
薬理学	1	30	1 年前期	山崎晃憲
科目のねらい 薬の効きかたと理論的背景を理解し、それに基づく適切な薬物療法を学ぶ 薬理学全般における基礎的知識と、疾患の系統別に作用する薬物について学ぶ 薬物医療事故の事例から看護師の役割を学び深める				
教科書 : わかりやすい薬理学 ヌーベルヒロカワ 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優(80 点以上)、良(70～79 点)、可(60～69 点)、不可(60 点未満)の 4 段階評価とする				
授業の進め方 総論では、薬剤師の役割と業務内容を解説する また、医薬品を取り扱う上で必要となる法律の概要を解説し、コンプライアンスの重要性を理解します 各論では、患者に薬が届けられるまでのプロセスから薬物療法の施行過程を解説し、その中で看護師として医薬品を取り扱う際に必要な知識を解説します 各項目に生理学、病態生理学、薬理学、微生物学、栄養学などの関連分野と組み合わせながら授業を進めます				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1	総 論	2	1. 薬理学の概念 2. 小児、妊婦、高齢者の薬物治療 3. 医薬品の管理 上記の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	講義
2 3	末梢神経系作用薬	4	1. 自律神経作用薬 2. 筋弛緩薬 3. 局所麻酔薬 上記の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	講義
4 5	循環器系作用薬	4	1. 抗高血圧薬(降圧薬) 2. 心臓作用薬 3. 腎臓作用薬 4. 血液・造血器作用薬 上記の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	講義
6 7	中枢神経系作用薬	4	1. 麻酔 2. 疼痛 3. 不眠症 4. 神経系、気分障害、統合失調症 5. てんかん 6. パーキンソン病	講義

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
6 7			7. 認知症、アルツハイマー病 上記の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	講義
8 9	炎症免疫系作用薬	4	1. 抗炎症薬 2. 免疫関連薬 アレルギー、関節リウマチ 上記の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	講義
10 11	呼吸器系作用薬	4	1. 気管支喘息 2. 呼吸器感染症等による激しい咳、痰 3. 慢性呼吸不全 4. 睡眠時無呼吸症候群 5. びまん性汎細気管支炎 上記の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	講義
12 13	消化器系作用薬	4	1. 胃炎、胃、十二指腸潰瘍 2. 食欲不振、消化不良 3. 嘔吐 4. 便秘、下痢 上記の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	講義
14	ホルモン系・生殖器系 作用薬	2	1. ホルモン系作用薬 糖尿病、甲状腺機能亢進症・低下症 骨粗鬆症 2. 生殖器系作用薬 前立腺肥大 陣痛誘発 不妊症 受胎調節の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	講義
	抗感染症薬		1. 抗感染症薬 2. 消毒薬 上記の基礎知識と治療薬 看護上の注意点	
15	抗悪性腫瘍薬 漢方薬	2	看護上の注意点	講義 演習
	薬の取り扱いと医療事故		1. 薬の取り扱いと医療事故 2. 事故判例から看護師の役割をまとめる	
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
微生物学	1	30	1 年前期	澤田 幸治
科目のねらい 微生物の種類と特徴を理解する 感染拡大を防ぐための病原微生物の正しい滅菌、消毒法を理解する 病原微生物が引き起こす感染症の症状とその予防法について理解する				
教科書 : 系統看護学講座 専門基礎分野微生物学 疾病の成り立ちと回復の促進④ 医学書院 参考文献 : 特にありません 必要に応じてプリントを配布します				
評価方法 : 筆記試験 100% 評価認定 : 優(80 点以上)、良(70～79 点)、可(60～69 点)、不可(60 点未満)の 4 段階評価とする				
授業の進め方: 板書、スライド(パワーポイント)、プリントを併用して基本的事項を解説します。 ノートを取り教科書を参照すること。毎回の授業の復習ため、小テストを実施します。				

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1 2 3 4	微生物学総論	8	1. 病原微生物の種類と特徴 2. 常在細菌叢 3. 微生物の増殖と病原性因子 4. 微生物の感染機構 5. 感染の成立から発症・治癒まで 6. 感染症の種類 7. 感染症法	講義
5 6	感染症に対する生体防御機構	4	1. 自然免疫のしくみ 2. 獲得免疫のしくみ	
7 8	感染症の予防	4	1. ワクチンの種類と予防接種 2. 滅菌と消毒	
9 10 11 12 13 14 15	感染症各論	14	1. 日和見感染症と院内感染症 2. 消化器感染症と食中毒 3. 尿路感染症 4. 性感染症 5. 肝炎、 6. 微生物と腫瘍 7. 針刺し感染症 8. 呼吸器感染症 9. 発疹性感染症 10. 母子感染症 11. 小児感染症 12. 脳・神経系感染症 13. 高齢者感染症	
単位修得認定試験		1	筆記試験	

科目名	単位	時間数	講義時期	講師
病態と治療Ⅰ	1	30	1年前期	後山恒範 金谷憲明 賀来亨
科目のねらい 疾患の病態、治療検査を理解しその疾患のもつ患者の身体のアセスメントに必要な基礎的能力を養う				
教科書 : 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② 医学書院 参考文献 : 都度紹介				
評価方法 : 筆記試験 100%(後山 40% 金谷 30% 賀来 30%) 評価認定 : 優(80点以上)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(60点未満)の4段階評価とする				
授業の進め方 解剖生理学の確認をしながら、主たる臨床で関わる代表疾患を中心に講義をします				
単元： 運動器系		担当講師： 後山 恒範		
単元： 循環器系		担当講師： 金谷 憲明		
単元： 呼吸器系		担当講師： 賀来 亨		

授業進度と内容

回数	単 元	時間	学習内容	授業形態
1 2 3 4 5	運動器疾患の病態と 検査治療処置	10	1. 運動器の構造と機能 ・骨、関節、神経と筋肉、腱と靭帯 2. 症状とその病態生理 ・疼痛、形態・関節の異常、神経障害 3. 診断・検査と治療・処置 ・診察・診断の流れ、画像検査、保存療法、理学療法、手術療法、義肢と装具 4. 運動器疾患の理解 ・外傷性・内因性の運動器疾患	講義
6 7 8	循環器疾患の病態と 検査治療処置	10	1. 循環器の構造と機能 ・心臓、血管、自律神経、液性因子 2. 症状とその病態生理 ・胸痛、呼吸困難、浮腫、失神、ショック 3. 検査と治療 ・診察と診断の流れ、心電図、心エコー 心臓カテーテル、血行動態モニタリング	講義

回数	単元	時間	学習内容	授業形態
9 10	循環器疾患の病態と 検査治療処置		心臓核医学検査 ・内科的治療、外科的治療 4. 循環器疾患の理解 ・虚血性心疾患、心不全、不整脈、弁膜症 大動脈系疾患	講義
11 12 13 14 15	呼吸器疾患の病態と 検査治療処置	10	1. 呼吸器の構造と機能 ・呼吸器の構造、呼吸の生理 2. 症状とその病態生理 ・自覚症状（咳嗽、喀痰、呼吸困難） ・他覚症状（チノーゼ、ばち指、呼吸の異常） 3. 検査と治療・処置 ・診察と診断の流れ、喀痰検査、内視鏡検査、 生検、呼吸機能検査 ・吸入・酸素療法、呼吸理学療法、気道確保 ・胸腔ドレナージ ・在宅酸素療法（HOT） 4. 呼吸器疾患の理解 ・感染症、間質性肺疾患、気道疾患 肺血栓塞栓症、呼吸不全、肺腫瘍	講義
単位修得認定試験		1	筆記試験	